



Dell C5519Q


ユーザーガイド

モニターモデル: C5519Q
規制モデル: C5519Qc



 **注意:** 注意は、コンピュータをより使いやすくするための重要な情報を示します。

 **警告:** 警告は、もし指示に従わない場合は、ハードウェアに対する損傷またはデータ損失が起こりうることを示します。

 **危険:** 危険は器物損壊、怪我、死亡に繋がる可能性を示します。

Copyright © 2018-2021 Dell Inc.またはその子会社。All rights reserved. Dell, EMC、および、他の商標は、Dell Inc.またはその子会社の商標です。他の商標は、それぞれの所有者の商標である場合があります。

2021 – 09

Rev. A03

目次

お使いのモニターについて	6
パッケージの内容	6
製品の特徴	7
部品とコントロールの識別	8
前面ビュー	8
背面ビュー	9
側面ビュー	10
底面ビュー	11
モニター仕様	12
解像度の仕様	14
ビデオのサポートモード	14
プリセットディスプレイモード	14
電氣的仕様	15
物理特性	16
環境特性	17
プラグアンドプレイ機能	18
LCDモニター品質とピクセルポリシー	18
モニターの設定	19
モニターの接続	19
VGAケーブルの接続	19
HDMIケーブルの接続	19
DPケーブルの接続	20
USBケーブルを接続する	20
オーディオケーブル(別売り)の接続	21

壁取り付け	21
リモコン	23
リモコンに電池を入れる	24
リモコンの取り扱い	25
リモコンの作動範囲	25
モニターを操作する	26
モニターの電源をオンにする	26
コントロールボタンの使用	27
OSDコントロール	28
オンスクリーンディスプレイ(OSD)メニューの使用	29
OSDメニューにアクセス	29
OSD警告メッセージ	41
モニター用Dellイーサネット/Web管理	44
OSDおよび電源ボタンのロック	49
トラブルシューティング	51
セルフテスト	51
ビルトイン診断	53
製品固有の問題	57
付録	58
安全上の注意	58
FCC通知(米国のみ)およびその他の規制情報	58
Dellに連絡	59
モニターの設定	60
ディスプレイの解像度を3840 x 2160(最大)に設定する	60
Dellコンピューター	61

非Dellコンピューター	61
お手入れのガイドライン	62
ディスプレイの清掃	62
ピン割り当て	63

お使いのモニターについて

パッケージの内容

モニターは下記で示されるすべてのコンポーネントが同梱されています。すべてのコンポーネントが含まれていることを確認し、何か足りない場合には[Dellに連絡](#)ください。

注意：一部の品目はオプションで、モニターには同梱されていないことがあります。ご使用の国によっては、一部の機能またはメディアが利用できないことがあります。

	モニター
	リモコンと電池(単四電池 x 2)
	電源ケーブル(国によって異なります)
	VGAケーブル
	HDMIケーブル



	DPケーブル(DP対DP)
	USB 3.0アップストリームケーブル(モニター のUSBポートを有効にします)
	ケーブルクリップ: 3個
	<ul style="list-style-type: none"> ・ クイックセットアップガイド ・ 安全、環境、規制情報 (SERI)

製品の特徴

Dell C5519Q 平面パネルモニターには、アクティブマトリクス方式、薄膜トランジスタ (TFT)、液晶ディスプレイ (LCD) および LED バックライトが搭載されています。モニターの特徴は次のとおりです。

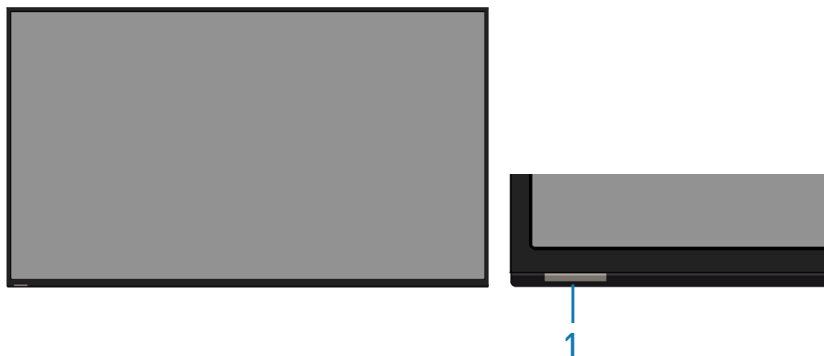
- **C5519Q:** 1386.84 mm (54.6 インチ) の表示可能領域のディスプレイ (対角で測定)、解像度 3840 x 2160、さらに低解像度のフルスクリーンをサポートします。
- 柔軟な取り付けを可能にする VESA (ビデオエレクトロニクススタンダードアソシエーション) 400 mm x 400 mm 取り付け穴。
- プラグアンドプレイ機能 (システムでサポートされている場合)。
- DisplayPort および HDMI を用いるデジタル接続。
- 簡単な設定と画面の最適化を行うためのオンスクリーンディスプレイ (OSD) 調整。
- セキュリティロックスロット
- アセットマネージメント機能。
- スタンバイモードで ≤ 0.5 W。
- ちらつき防止画面により目にとって心地よい環境を作ります。

⚠ 危険: モニターからの青色光放射の潜在的な長期的な影響により、眼の疲れ、デジタル眼精疲労などを含む、目に対する損傷を引き起こす可能性があります。ComfortView 機能は、モニターから放射される青色光の量を低減し、目にとって心地よい環境を作ります。



部品とコントロールの識別

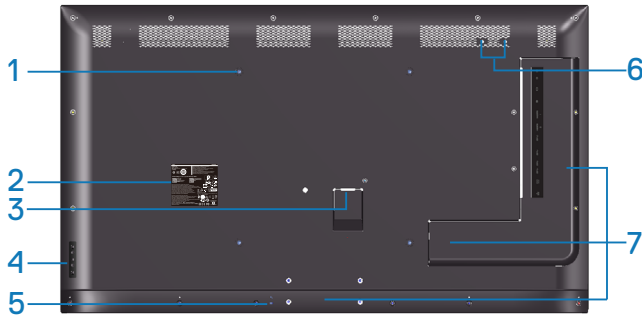
前面ビュー



1	IRレンズ (LEDランプあり)
---	------------------



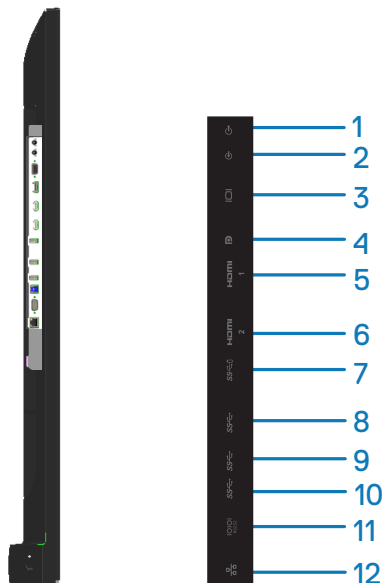
背面ビュー



ラベル	説明	用途
1	VESA取り付け穴 (400 mm x 400 mm)	モニターを取り付けます。
2	規制ラベル	承認された規制ラベルの一覧。
3	AC電源コネクタ	モニターの電源ケーブルを接続します。
4	機能ボタン (詳細については、 モニターを操作する を参照してください)	画像の設定を調整するには、モニターの背面にあるキーを使用します。
5	セキュリティロックスロット	セキュリティロックでモニターを固定します。
6	ネジ穴	付属品の取り付け。
7	ケーブルクリップの位置	ケーブルをまとめるために、この位置にケーブルクリップを貼り付けます。



側面ビュー



ラベル	説明	用途
1	オーディオライン出力ポート	外部オーディオ周辺装置に接続します。 2チャンネルオーディオのみをサポートしています。 注意：オーディオライン出力ポートは、ヘッドフォンをサポートしていません。
2	オーディオライン入力ポート	アナログオーディオ (2チャンネル) 入力。
3	VGAコネクタ	コンピューターをVGAケーブルで接続。
4	DPコネクタ	コンピューターをDPケーブルで接続。
5	HDMI 1コネクタ	コンピューターをHDMIケーブルで接続。
6	HDMI 2コネクタ	
7	USB専用充電ポート	USB 3.0 (10 W電源 (5V/2.0A) 対応)
8	USB 3.0ダウンストリームポート	USBデバイスを接続。 このコネクタは、USBケーブルをコンピューターと、モニターのUSBアップストリームコネクタに接続した後にのみ利用可能。



9	USB 3.0ダウンストリームポート	USBデバイスを接続。 このコネクタは、USBケーブルをコンピュータと、モニターのUSBアップストリームコネクタに接続した後にのみ利用可能。
10	USB 3.0アップストリームポート	モニターに付属するUSBケーブルをコンピュータに接続します。このケーブルを接続すると、USBダウンストリームコネクタをモニターで使用可能。
11	RS232コネクタ	RS232を介するモニターのリモート管理および制御
12	RJ-45ポート	RJ-45を介するリモートネットワーク管理および制御。


底面ビュー



1	スピーカー
---	-------



モニター仕様

モデル	C5519Q
スクリーンタイプ	アクティブマトリクス - TFT LCD
パネルタイプ	垂直調整
アスペクト比	16:9
表示可能画像	
対角	1386.8 mm (54.6 インチ)
水平、アクティブエリア	1209.6 mm (47.6 インチ)
垂直、アクティブエリア	680.4 mm (26.8 インチ)
領域	823011.8 mm ² (1275.7インチ ²)
ピクセルピッチ	0.315 mm (W) * 0.315 mm(H)
インチあたりのピクセル (PPI)	80
視野角	
水平	178° (標準値)
垂直	178° (標準値)
輝度出力	350cd/m ² (標準値)
コントラスト比	4000:1 (標準値)
表面コーティング	ハードコーティング3Hと反射防止、2%のかすみ
バックライト	LEDライトバーシステム
応答時間	8 ms標準(GからG)
色深度	10億7000万色 (標準)
色域	NTSC (全米テレビジョンシステム委員会) 72% (CIE (国際照明委員会) 1931)  注意: 色域 (標準値)は CIE1976(82%)と CIE1931 (72%) テスト標準に基づく。
ビルトインデバイス	<ul style="list-style-type: none"> • USB 3.0 超高速ジャブ (1xUSB 3.0 アップストリームポート付) • 3xUSB 3.0 ダウンストリームポート (1xUSB 3.0 BC1.2 充電ポート (2.0A 対応) を含む)



ポートおよびコネクター	<ul style="list-style-type: none"> • 1x オーディオライン出力ポート • 1x オーディオライン入力ポート • 1xVGA ポート • 1xDisplayPort バージョン 1.2 • 2xHDMI ポートバージョン 2.0 • 1xUSB 専用充電ポート • 2xUSB 3.0 ダウンストリーム • 1xUSB 3.0 アップストリーム • 1xRS232 • 1xRJ-45
境界部分(モニターの端からアクティブエリアまで)の幅	
上/左/右	15.7 mm (0.61インチ)
下	25.55 mm (1.01インチ)
Dellディスプレイマネージャーの互換性	はい
セキュリティ	セキュリティロックスロット(ケーブルロックは別売りです)
ケーブル管理	はい



解像度の仕様

モデル	C5519Q
水平走査範囲	30 kHzから160 kHz (自動)
垂直走査範囲	23 Hzから80 Hz (自動)
最大プリセット解像度	3840 x 2160、60Hz

ビデオのサポートモード

モデル	C5519Q
ビデオ表示機能(HDMI&DP再生)	480p、576p、720p、1080p、1080i、2160p

プリセットディスプレイモード

ディスプレイモード	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	周波数 (MHz)	同期極性 (水平/垂直)
VESA、720 x 400	31.5	70.0	28.3	-/+
VESA、640 x 480	31.5	60.0	25.2	-/-
VESA、640 x 480	37.5	75.0	31.5	-/-
VESA、800 x 600	37.9	60.3	40.0	+/+
VESA、800 x 600	46.9	75.0	49.5	+/+
VESA、1024 x 768	48.4	60.0	65.0	-/-
VESA、1024 x 768	60.0	75.0	78.8	+/+
VESA、1152 x 864	67.5	75.0	108.0	+/+
VESA、1280 x 1024	64.0	60.0	108.0	+/+
VESA、1280 x 1024	80.0	75.0	135.0	+/+
VESA、1600 x 900	55.5	60.0	97.8	+/-
VESA、1920 x 1080	67.5	60.0	148.5	+/+
VESA、3840 x 2160	67.5	30.0	297.0	+/+
VESA、3840 x 2160	135.0	60.0	594.0	+/+




電氣的仕様

モデル	C5519Q
ビデオ入力信号	<ul style="list-style-type: none"> アナログ RGB、0.7 ボルト、+/-5%、75 Ω 入力インピーダンスで肯定極性 HDMI 2.0、各差動線路毎に 600 mV、差動ペアあたり 100 オーム入力インピーダンス DisplayPort 1.2、各差動線路毎に 600 mV、差動ペアあたり 100 オーム入力インピーダンス
AC入力電圧/周波数/電流	100 VAC~240 VAC / 50 Hzまたは60 Hz ± 3 Hz / 2.5A (標準)
突入電流	120 V: 30 A (最大) 0°Cで (コールドスタート) 240 V: 60 A (最大) 0°Cで (コールドスタート)
電力消費	0.3 W (オフモード) ¹ 0.4 W (スタンバイモード) ¹ 100 W (オンモード) ¹ 200 W (最大) ² 85 W (Pon) ³ 該当なし (TEC) ³

1. EU 2019/2021 および EU 2019/2013 で定義されています。
2. すべての USB ポートで最大電力負荷での最大輝度およびコントラスト設定。
3. Pon : Energy Star 8.0 に定義されているオンモード時の電力消費。
TEC : Energy Star 8.0 版に定義されている合計エネルギー消費 (kWh 単位)。

本書は情報提供のみを目的としており、実験室での性能を提示しています。注文されたソフトウェア、コンポーネント、周辺機器によっては製品の性能が変わることがあります。そのような情報を更新する義務は製品にありません。そのため、電氣的な許容範囲またはそれ以外について意志決定を行うとき、本書の情報に依存しないでください。精度と完全性については、明示的にも暗示的にも何の保証もありません。

 **注意:** 接続される入力信号により、メッセージは、若干異なる場合があります。





注意: このモニターはENERGY STAR認定です。

この製品は、「工場出荷時デフォルト」設定において、ENERGY STAR の資格を与えられています。OSD メニューの「工場出荷時デフォルト」機能で復元できます。工場出荷時デフォルト設定を変更するか、他の機能を有効にすることで、電力消費が増え、ENERGY STAR 指定の制限を超える場合があります。

物理特性

モデル	C5519Q
シグナルケーブルタイプ	<ul style="list-style-type: none">デジタル: DisplayPort、20 ピンデジタル: HDMI、19 ピンアナログ: D-Sub、15 ピンユニバーサルシリアルバス: USB、9 ピン
寸法	
高さ	721.5 mm (28.41 インチ)
幅	1241.0 mm (48.86 インチ)
奥行き	64.8 mm (2.55 インチ)
重量	
重量 (パッケージを含む)	27.57 kg (60.78 lb)
重量 (ケーブルを含む)	21.38 kg (47.13 lb)
重量 (ケーブルなし) (壁取り付けまたはVESAマウントを考慮。ケーブルなし)	20.50 kg (45.19 lb)



環境特性

モデル	C5519Q
準拠する標準	
<ul style="list-style-type: none"> • Energy Star 認定モニター • RoHS 準拠 • TCO Certified • BFR/PVC のないモニター (外部ケーブルを除く) • ヒ素を含まないガラスと水銀を含まないパネル 	
温度	
運転時	0 °C ~ 40 °C (32 °F ~ 104 °F)
非運転時	<ul style="list-style-type: none"> • 保管時: -20 °C ~ 60 °C (-4 °F ~ 140 °F) • 輸送時: -20 °C ~ 60 °C (-4 °F ~ 140 °F)
湿度	
運転時	10 % ~ 80 % (結露しない)
非運転時	<ul style="list-style-type: none"> • 保管時: 10 % ~ 90 % (結露しない) • 輸送時: 10 % ~ 90 % (結露しない)
高度	
運転時 (最大)	最高5,000 m (16,400 フィート)
非運転時 (最大)	最高12,192 m (40,000 フィート)
熱出力	<ul style="list-style-type: none"> • 684.00 BTU/ 時 (最大) • 307.80 BTU/ 時 (標準)

* OFFモードのゼロ電力消費は、モニターからACメインケーブルを切断した場合のみ達成できます。

** 最大輝度とUSBが有効な状態で最大電力消費となります。

注意:

P_{on}: Energy Star 8.0版に定義されているオンモード時の電力消費。

TEC: Energy Star 8.0版に定義されている合計エネルギー消費 (KWh 単位)。



プラグアンドプレイ機能

任意のプラグアンドプレイ互換システムに、モニターをインストールすることができます。モニターがディスプレイデータチャンネル (DDC) プロトコルを使用して、コンピューターシステムに拡張ディスプレイ識別データ (EDID) を自動的に提供するため、システムによる自己設定およびモニター設定の最適化が可能です。ほとんどのモニターインストールは自動で行われます。必要に応じて異なる設定を選択できます。モニター設定の変更の詳細については、[モニターを操作する](#)を参照してください。

LCDモニター品質とピクセルポリシー

LCDモニターの製造プロセスにおいて、いくつかのピクセルが特定の状態に固定されることはよくあります。これらの固定ピクセルは見つけにくく、表示品質や使い勝手に影響しません。Dellモニター品質とピクセルポリシーについての詳細は、Dellサポートサイト www.dell.com/support/monitors を参照してください。



モニターの設定

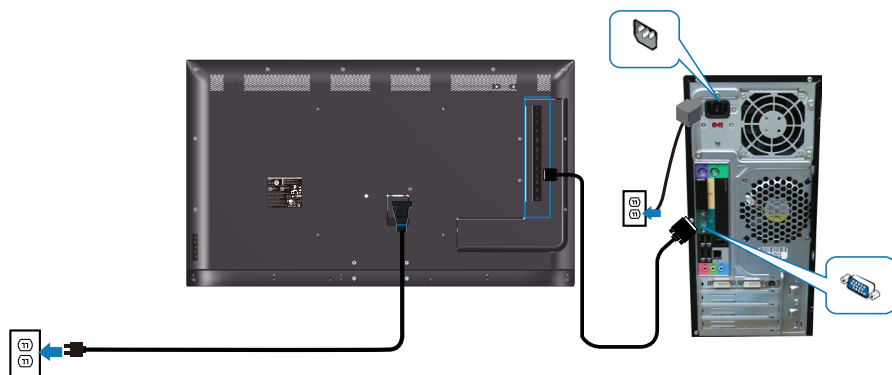
モニターの接続

⚠ 危険: このセクションの手順を始める前に、**安全上の注意**に従ってください。

モニターをコンピューターに接続するには:

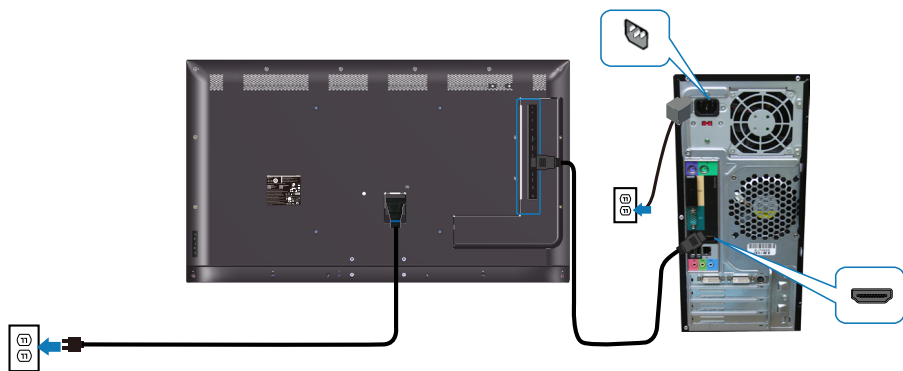
1. コンピューターをオフにする
2. HDMI/DP/VGA/USB ケーブルをモニターからコンピューターに接続します。
3. モニターをオンに切り替えます。
4. モニターの OSD メニューで正しい入力信号を選択し、コンピューターをオンに切り替えます。

VGAケーブルの接続

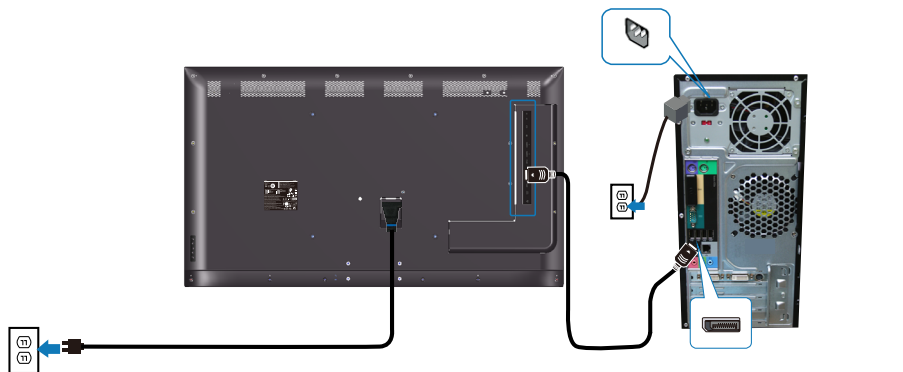


HDMIケーブルの接続

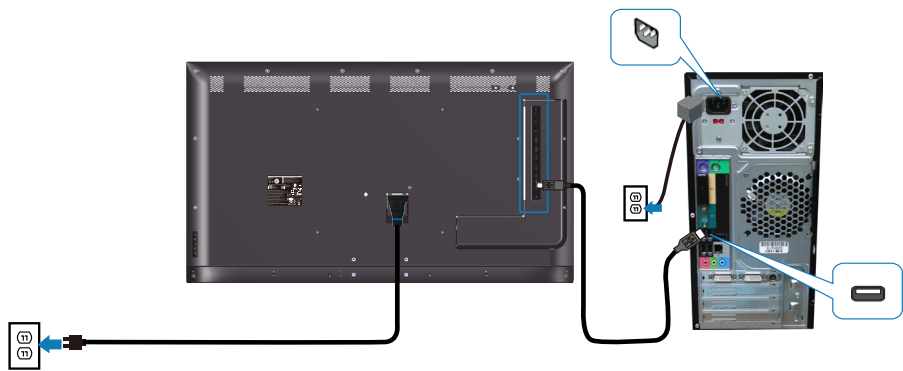




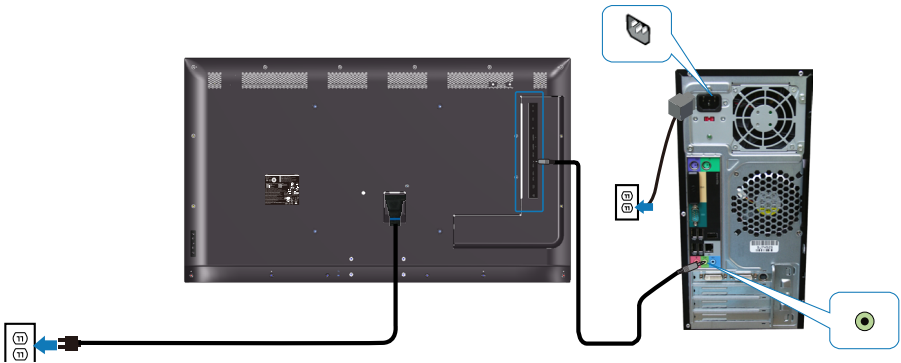
DPケーブルの接続



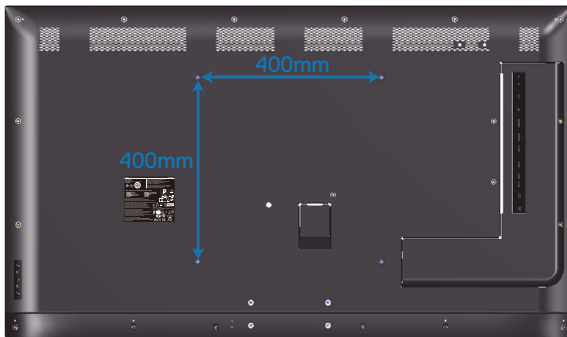
USBケーブルを接続する



オーディオケーブル(別売り)の接続



壁取り付け



VESAネジ穴の寸法は、M6 x 30 mmです。

お客様が購入したサーボパーティ製壁取り付けに付属の設置説明書を参照してください。VESA互換ベース取り付けキット(400 x 400) mm

1. 壁プレートを壁に取り付けます。
2. モニターパネルを、柔らかい布またはクッションを敷いた安定した平らなテーブルの上に置きます。
3. 壁取り付けキットの取り付けブラケットをモニターに取り付けます。
4. モニターを壁プレートに取り付けます。
5. モニターが前後に傾くことなく垂直に取り付けられていることを確認します。モニターを取り付けるために、レバーを使用します。



- **注意:** お客様ご自身で、モニターの壁取り付けを行わないでください。資格のある設置者が行う必要があります。
このモニター用に推奨される壁マウントは、Dell サポートウェブサイト (www.dell.com/support) に掲載されています。
- **注意:** 82 kg (180.78ポンド) の最小重量/荷重負担能力のある、UL、CSAまたはGS規格認定取得済みの壁取り付けブラケットのみを使用してください。



リモコン



1. 電源オン/オフ

モニターのオン/オフを切り替えます。

2. 入力信号

入力信号を選択します。●または▼ボタンを押して、**HDMI 1**、**HDMI 2**、**VGA** または **DP** から選択します。✓ボタンを押し、確定して終了します。

3. 上

押すと、OSD メニューの選択が上に移動します。

4. 左

押すと、OSD メニューの選択が左に移動します。

5. 下

押すと、OSD メニューの選択が下に移動します。

6. メニュー

押すと、OSD メニューがオンになります。

7. 輝度 -

押すと輝度が下がります。

8. 音量 -

押すと音量が下がります。

9. 消音

押すと消音機能のオン/オフが切り替わります。

10. プリセットモード

プリセットモードに関するモニター情報を表示します。

11. 右

押すと、OSD メニューの選択が右に移動します。

12. OK

入力または選択を確定します。

13. 終了

押すとメニューを終了します。

14. 輝度 +

押すと輝度が上がります。

15. 音量 +

押すと音量が上がります。

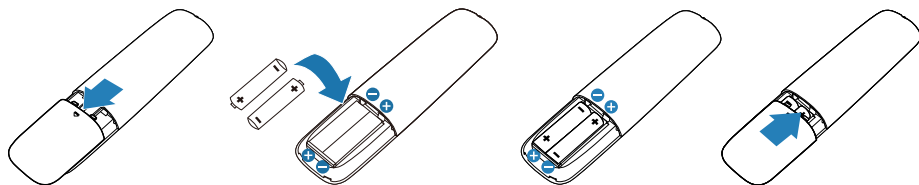


リモコンに電池を入れる

リモコンは1.5Vの単4電池2個で作動します。

電池を入れる(交換する)には:

1. 押しながらスライドさせるとカバーが外れます。
2. (+) と (-) の指示に合わせて電池を入れます。
3. カバーを取り付けます。



⚠ 警告: 電池の使い方を間違えると漏電したり、破裂したりする可能性があります。次の指示を必ずお守りください。

- 単4電池を入れるときは、電池の(+)記号とリモコンの(+)記号を合わせ、電池の(-)記号とリモコンの(-)記号を合わせます。
- 異なる種類の電池を使わないでください。
- 新しい電池と使用済みの電池を同時に使わないでください。電池の使用期間が短くなったり、漏電したりします。
- 漏電を防ぐため、切れた電池をすぐに取り出してください。漏れた電池の酸には触らないでください。肌を傷めることがあります。

🔪 注意: リモコンを長期間使用しない場合、電池を取り外してください。



リモコンの取り扱い

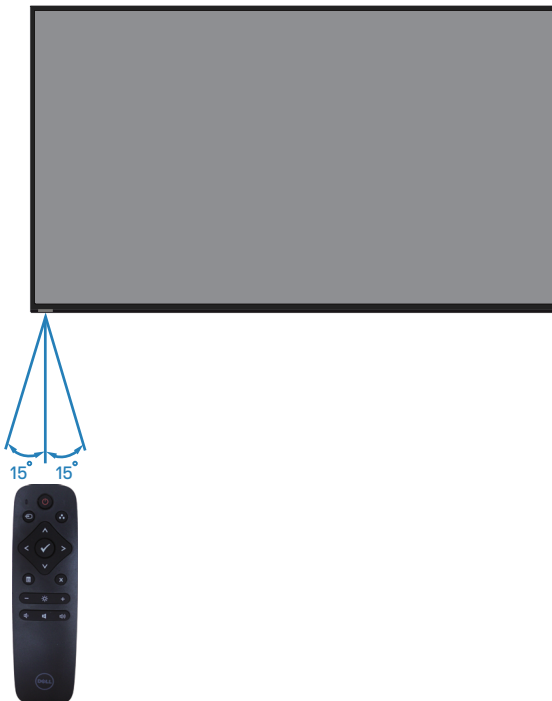
- 衝撃を与えないでください。
- 水やその他の液体がリモコンにかからないようにしてください。リモコンが濡れた場合、すぐに拭き取ってください。
- 熱や蒸気にさらさないでください。
- 電池の交換以外の目的でカバーを外さないでください。

リモコンの作動範囲

ボタン操作の間、リモコンの上部をLCDモニターのリモコンセンサーに向けます。


リモコンはリモコンセンサーから約8m以内の距離で使用します。あるいは約5.6m以内の距離で水平角と垂直角を15度以内にして使用します。

注意：モニターのリモコンセンサーに直射日光や強い照明が当たるか、信号伝送の通り道に障害物があると、リモコンが正常に動作しない場合があります。



モニターを操作する

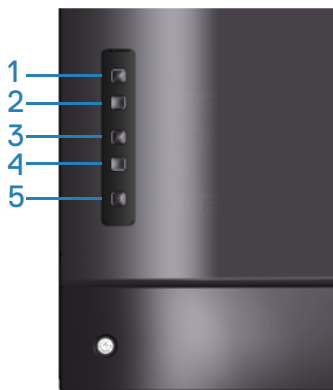
モニターの電源をオンにする

モニターの電源を入れるには  ボタンを押します。








コントロールボタンの使用

画像の設定を調整するには、モニターの背面にあるキーを使用します。

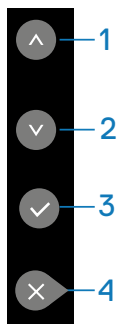






以下の表は、コントロールボタンについてまとめたものです。

コントロールボタン	説明
1  上	OSDメニューでアイテムを調節（範囲を広げる）には、 上 キーを使用します。
2  下	OSDメニューでアイテムを調節（範囲を狭める）には、 下 キーを使用します。
3  メニュー	メニュー ボタンを使用して、オンスクリーンディスプレイ (OSD) を起動し、OSDメニューを選択します。 OSDメニューにアクセス を参照してください。
4  終了	メニューおよびサブメニューからオンスクリーンディスプレイ (OSD) を終了するには、 終了 キーを使用します。約10秒間押し続けると、OSDロックの有効または無効が切り替わります。
5  電源	モニターの 電源 のオン/オフを切り替えるには、電源ボタンを押します。 白いライトが点灯しているときには、モニターがオンで正常に機能していることを示しています。白いライトの点滅は、モニターがスタンバイモードに入っていることを示しています。



OSDコントロール




	コントロールボタン	説明
1	 上	OSDメニューでアイテムを調節 (範囲を広げる) には、 上 キーを使用します。
2	 下	OSDメニューでアイテムを調節 (範囲を狭める) には、 下 キーを使用します。
3	 OK	選択を確定するには OK キーを使用します。
4	 終了	メニューおよびサブメニューからオンスクリーンディスプレイ (OSD) を終了するには、 終了 キーを使用します。約10秒間押し続けると、OSDロックの有効または無効が切り替わります。



オンスクリーンディスプレイ(OSD)メニューの使用










OSDメニューにアクセス

注意: OSDメニューを使用して行った変更は、別なOSDメニューに移動した場合、OSDメニューを終了した場合、自動的に保存されます。また、OSDメニューが消えるまで待機します。


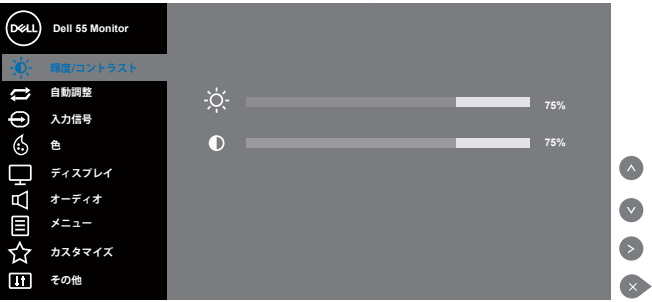
1. OSD メインメニューを表示するには、 ボタンを押します。

メインメニュー



2.  と  ボタンを押して、設定オプション間を移動します。別のアイコンに移動すると、オプション名がハイライトされます。モニターで利用できるすべてのオプションについては、次の表を参照してください。
3.  ボタンを一度押すと、ハイライトされたオプションが有効になります。
4. 希望のパラメーターを選択するには  と  ボタンを押します。
5.  を押し、メニューのインジケーターに従って  または  ボタンを使い変更を行います。
6.  ボタンを選択してメインメニューに戻ります。



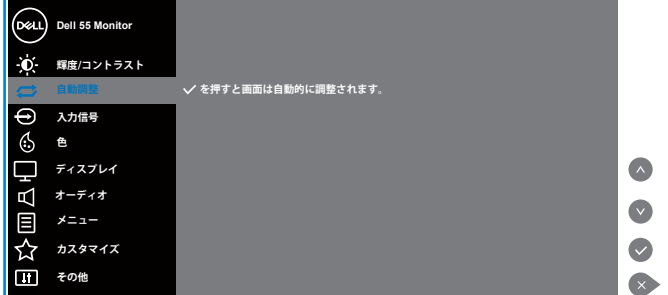
アイコン	メニューとサブメニュー	説明
	輝度/コントラスト	<p>このメニューを使用して輝度/コントラスト調整を有効にします。</p> 
	輝度	<p>輝度は、バックライトの輝度を調整します。</p> <p>▲キーを押して輝度を増加させ、▼キーを押して、輝度を下げます (最小0から最大100まで)。</p> <p>注意：動的コントラストがオンになっているときには、手動で輝度を調整することはできません。</p>
	コントラスト	<p>まず、輝度を調整し、それでも調整が必要な場合のみコントラストを調整します。</p> <p>▲キーを押してコントラストを増加させ、▼キーを押して、コントラストを下げます (最小0から最大100まで)。</p> <p>コントラスト機能は、モニターの画面の暗い部分と明るい部分の違いの程度を調整します。</p>





自動調整

このキーは自動設定と調整メニューに使用します。



現在の入力に対するモニターの自己調整として、次のダイアログが黒い画面に表示されます。



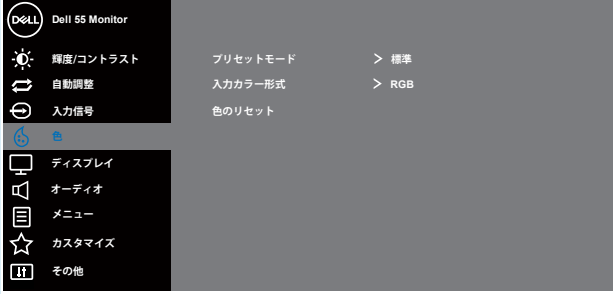
自動調整中...

自動調整は、入力ビデオ信号に対するモニターの自己調整を可能にします。自動調整を使用後、**ディスプレイ設定**から周波数(粗い)とフェーズ(細かい)コントロールを使用して、モニターをさらに調整できます。

注意: アクティブなビデオ入力信号がない場合、またはケーブルが接続されていない間にボタンを押すと、自動調整は行われません。

このオプションはアナログ(VGA)コネクタを使用している場合のみ利用できます。



	入力信号	<p>モニターに接続された異なるビデオ信号間を選択するには、入力信号メニューを使用します。</p> 
	VGA	<p>アナログ (VGA) コネクタを使用している場合は、VGA入力を選択します。➤を押して、VGA入力信号を選択します。</p>
	DP	<p>DisplayPort (DP) コネクタを使用している場合は、DisplayPort入力を選択します。➤を押して、DisplayPort入力ソースを選択します。</p>
	HDMI 1	<p>HDMI 1コネクタを使用している場合は、HDMI 1入力を選択します。➤を押して、HDMI 1入力ソースを選択します。</p>
	HDMI 2	<p>HDMI 2コネクタを使用している場合は、HDMI 2入力を選択します。➤を押して、HDMI 2入力ソースを選択します。</p>
	自動選択	<p>利用可能な入力信号をスキャンするには自動選択を選択します。</p>
	入力信号のリセット	<p>モニターの入力信号を工場出荷時のデフォルトに戻します。</p>
	色	<p>モニターの色設定を調整するには、色メニューを使用します。</p> 



プリセットモード

プリセットモードを選択しているときは、リストから、標準、ComfortView、色温度またはユーザーカラーを選択することができます。

- 標準：モニターのデフォルトカラー設定を読み込みます。これはデフォルトのプリセットモードです。
- ComfortView (コンフォートビュー)：画面から放射される青色光レベルを低減し、目のために、より快適に閲覧できるようします。
- 色温度：色温度を 5000K、5700K、6500K、7500K、9300K、10000K に調整します。スライダーを使用して 5,000K に設定すると、画面は赤 / 黄色の色合いを帯びた暖かみのある表示になります。また、スライダーを使用して 10,000K に設定すると、画面は青の色合いを持つ涼しい表示になります。
- ユーザーカラー：手でカラー設定を調整することができます。▲と▼キーを押して、赤、緑、青の値を調整し、独自のプリセットカラーモードを作成します。

⚠ 危険：モニターからの青色光放射の潜在的な長期的な影響により、デジタル眼精疲労、眼の疲などの怪我、および、目に対する損傷を引き起こす可能性があります。また、モニターを長時間使用すると、首、腕、背中および肩などの体の一部の痛みを引き起こす可能性があります。

モニターを長時間使用することにより発生する眼精疲労および首 / 腕 / 背中 / 肩の痛みのリスクを減らすため、当社は、以下を推奨します：

1. 目から画面までの距離を 40 インチから 197 インチ (100cm ~ 500cm) 間に設定します。
2. モニターを長時間使用するときは、頻繁に瞬きをして目を潤わす、または、水で目を濡らすようにしてください。
3. 定期的かつ頻繁に、2 時間当たり 20 分間休憩をとります。
4. 休憩中は、モニターから目を離し、20 フィートの距離にある物体を少なくとも 20 秒間凝視します。
5. 休憩中は、ストレッチを行い、首、腕、背中および肩の緊張をほぐします。



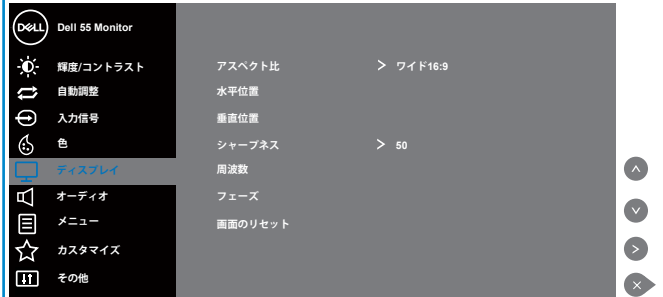
入力カラー形式	ビデオ入力モードを以下に設定可能です。 <ul style="list-style-type: none">• RGB: モニターが HDMI ケーブル (または DisplayPort ケーブル) を使用してコンピューターや DVD プレイヤーに接続されている場合にこのオプションを選択します。• YPbPr: お使いの DVD プレイヤーが YPbPr 出力のみをサポートしている場合にこのオプションを選択します。
色のリセット	モニターの色設定を工場出荷時のデフォルトに戻します。





ディスプレイ

ディスプレイを使用して画像を調整します。



アスペクト比

画像比をワイド16:9、4:3、5:4に調整します。
注意：最大プリセット解像度 3840 x 2160 では、ワイド 16:9 調整は必要ありません。

水平位置

▲または▼ボタンを使用して、画像の左と右を合わせます。最小は0(-)です。最大は100(+)

垂直位置

▲または▼ボタンを使用して、画像の上と下を合わせます。最小は0(-)です。最大は100(+)

シャープネス

これは画像をシャープまたはソフトにする機能です。▲または▼を使用して、シャープネスを「0」～「100」の範囲で調整します。
注意：100の値は、よりシャープになります。

周波数

フェーズと周波数調整で、モニターを好みに調整できます。▲または▼ボタンを使用して、最高の画像品質に調整します。最小は0(-)です。最大は100(+)

フェーズ


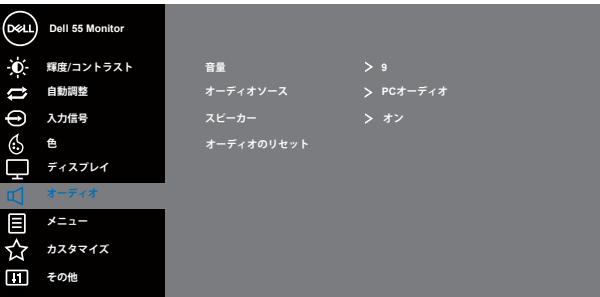
フェーズ調整を使用して満足な結果が得られないときは、周波数(粗い)調整を使用し、その後にフェーズ(細かい)をもう一度使用します。最小は0(-)です。最大は100(+)

画面のリセット


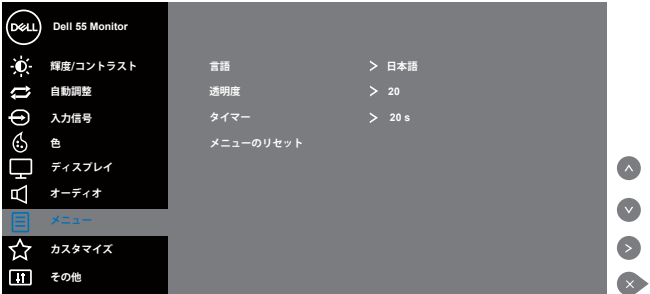
このオプションを選択し、デフォルトのディスプレイ設定に戻します。

注意：水平位置、垂直位置、周波数、フェーズ調整はVGA入力でのみ可能です。


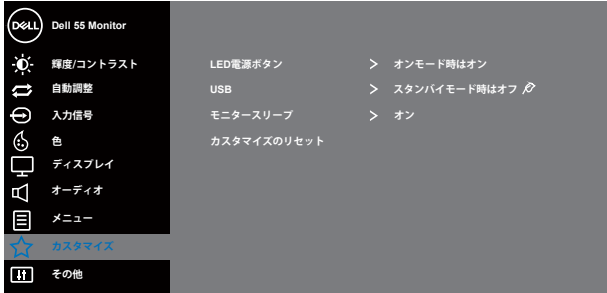


	オーディオ	
	音量調整	このボタンを使用し、音量を調整します。最小は0(-)です。最大は100(+)です。
	オーディオソース	オーディオソースモードを次のように設定できます。 • PC オーディオ • HDMI 1(あるいは HDMI X または DP)
	スピーカー	スピーカー機能を有効または無効にします。
	オーディオのリセット	このオプションを選択し、デフォルトのディスプレイ設定に戻します。



	メニュー	<p>OSDの言語、画面にメニューが残る時間など、OSD設定を調整するにはこのオプションを選択します。</p> 
	言語	<p>OSDディスプレイを8つの言語 (English、Español、Français、Deutsch、Português (Brasil)、Русский、简体中文、日本語) のいずれかに設定します。</p>
	透明度	<p>このオプションを選択し、▲ボタンと▼ボタンを押してメニューの透明度 (0 ~ 100) を変更します。</p>
	タイマー	<p>モニターのキーを押した後、OSDがアクティブで残される時間を設定できます。</p> <p>▲と▼キーを使用して、スライダーを1秒刻みで5-60秒で調整します。</p>
	メニューのリセット	<p>デフォルトのメニュー設定に戻すには、このオプションを選択します。</p>

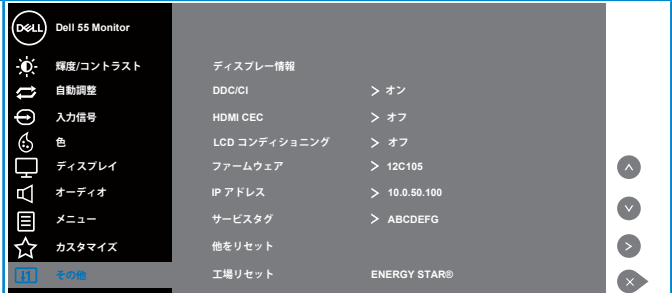


	カスタマイズ	<p>LED 電源ボタン、USB、モニタースリープまたはカスタマイズのリセットから機能を選択することができます。</p> 
	LED電源ボタン	<p>電源 LED ランプをオンモード時はオンまたはオンモード時はオフに設定して、エネルギーを節約します。</p>
	USB	<p>USB のスタンバイモード時はオンまたはスタンバイモード時はオフを設定してエネルギーを節約します。</p>
	モニタースリープ	<p>この機能をオフに切り替えるには、オフを選択します。</p>
	カスタマイズのリセット	<p>ショートカットキーをリセットし、デフォルト設定に戻すことができます。</p>





その他



ディスプレイ情報

ディスプレイに関する情報を表示する場合に押します。



DDC/CI

DDC/CI(ディスプレイデータチャンネル/コマンドインターフェイス)により、コンピューターのソフトウェアを介してモニターのパラメーター(輝度、色バランスなど)を調整できます。

オフを選択することで、この機能を無効にできます。


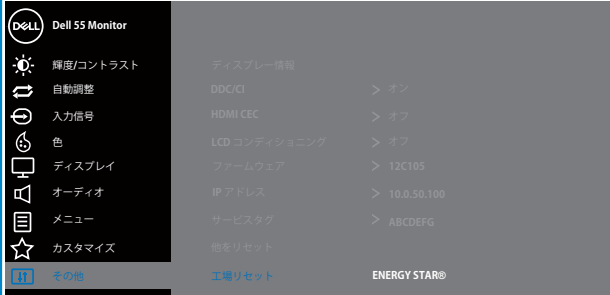
オンを選択し、この機能を有効化することで、ユーザー体験を最大限に高め、モニターのパフォーマンスを最適にすることができます。



HDMI CEC

HDMI CEC 機能を有効または無効にします。

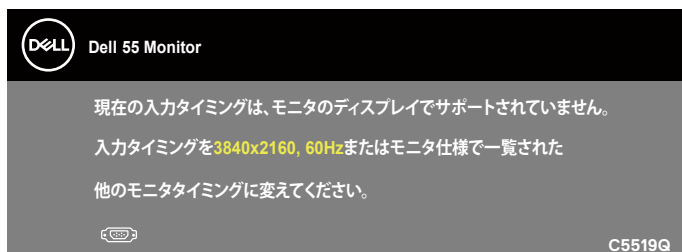


LCD コンディショニング	<p>この機能により、残像の軽微な問題を低減することができます。残像の程度によっては、プログラムが実行されるまでに少し時間がかかることがあります。LCD コンディショニングを開始するには、オンを選択します。</p>
ファームウェア	<p>モニターに関するファームウェアのバージョンを表示します。</p>
IP アドレス	<p>このオプションを選択して、DellモニターWeb管理ツールにアクセスします。(詳細については、モニター用Dellイーサネット/Web管理を参照してください)</p>  <p>The screenshot shows the 'Dell 55 Monitor' OSD menu. The 'IP アドレス' (IP Address) option is highlighted in blue. The menu items include: 輝度/コントラスト (Brightness/Contrast), 自動調整 (Auto Adjust), 入力信号 (Input Signal), 色 (Color), ディスプレイ (Display), オーディオ (Audio), メニュー (Menu), カスタマイズ (Customize), and その他 (Other). The settings list on the right includes: ディスプレー情報 (Display Info), DDC/CI (On), HDMI CEC (Off), LCD コンディショニング (LCD Conditioning, Off), ファームウェア (Firmware, 12C105), IP アドレス (10.0.50.100), サービスタグ (Service Tag, ABCDEFG), 他をリセット (Reset Others), and 工場リセット (Factory Reset).</p>
サービスタグ	<p>モニターのサービスタグ番号を表示します。</p>
他をリセット	<p>その他の設定メニューですべての設定を初期値に戻します。</p>
工場リセット	<p>すべてのプリセット値を工場出荷時デフォルト設定に復元します。また、ENERGY STAR®テスト用の設定があります。</p>  <p>The screenshot shows the 'Dell 55 Monitor' OSD menu. The '工場リセット' (Factory Reset) option is highlighted in blue. The menu items are the same as in the previous screenshot. The settings list on the right includes: ディスプレー情報 (Display Info), DDC/CI (On), HDMI CEC (Off), LCD コンディショニング (LCD Conditioning, Off), ファームウェア (Firmware, 12C105), IP アドレス (10.0.50.100), サービスタグ (Service Tag, ABCDEFG), 他をリセット (Reset Others), 工場リセット (Factory Reset), and ENERGY STAR®.</p>



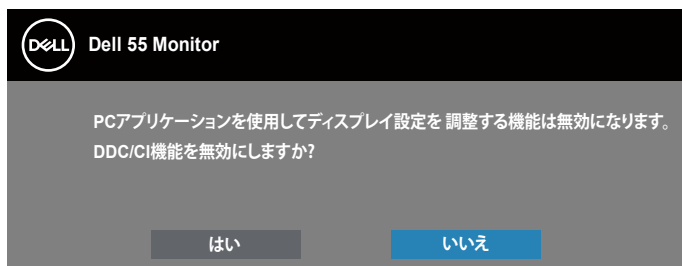
OSD警告メッセージ

モニターが特定の解像度モードをサポートしない場合、次のメッセージが表示されます。



これはモニターがコンピューターから受け取る信号を同期できないことを意味しています。このモニターが対応している水平および垂直周波数については[モニター仕様](#)を参照してください。推奨モードは3840 x 2160です。

DDC/CI機能を無効にする前に、次のメッセージが表示されます。



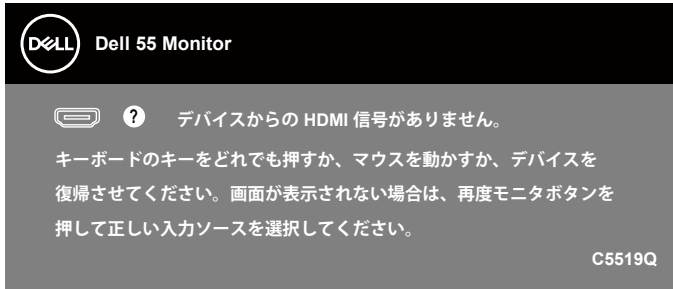
モニターが**Standby Mode (スタンバイモード)**に入る際には、次のメッセージが表示されます。



[オンスクリーンディスプレイ \(OSD\) メニューの使用](#)にアクセスするには、コンピューターをアクティブにし、モニターを起動します。

電源ボタン以外の任意のボタンを押すと、選択した入力に応じて、次のメッセージが表示されます。





VGA ケーブルが接続されていない場合、下の画像のようなフローティングダイアログボックスが表示されます。この状態が続くと、モニターは 4 分後に Standby Mode(スタンバイモード)に入ります。



HDMI ケーブルが接続されていない場合、下の画像のようなフローティングダイアログボックスが表示されます。この状態が続くと、モニターは 4 分後に Standby Mode(スタンバイモード)に入ります。

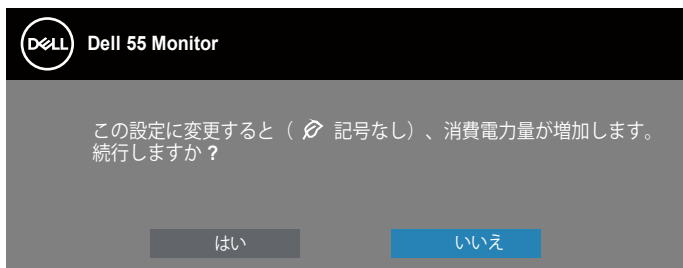




DP ケーブルが接続されていない場合、下の画像のようなフローティングダイアログボックスが表示されます。この状態が続くと、モニターは 4 分後に Standby Mode(スタンバイモード)に入ります。



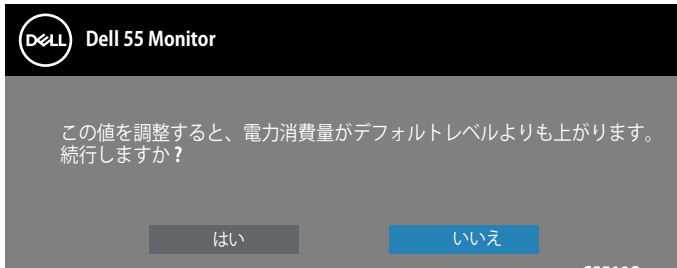
USB をスタンバイモード時はオンに初めて設定するとき、次のメッセージが表示されます。



注意: 「はい」を選択した場合、次回 USB 設定を変更するときにメッセージは表示されません。

輝度レベルを初めて調整するとき、次のメッセージが表示されます。



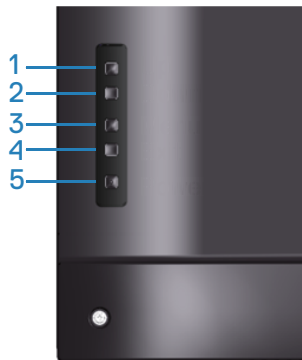



注意: 「はい」を選択した場合、次回輝度設定を変更するときにメッセージは表示されません。


詳細については、[トラブルシューティング](#)を参照してください。

モニター用Dellイーサネット/Web管理

DellディスプレイWeb管理機能にアクセスする前に、イーサネットが正常に動作していることを確認してください。



イーサネット有効: 上キー (ボタン1) を4秒間押し続けて、イーサネットを有効にします (イーサネットが無効のとき)。ネットワークアイコン  が、表示画面の中心に約4秒間表示されます。

イーサネット無効: 上キー (ボタン1) を4秒間押し続けて、イーサネットを無効にします (イーサネットが有効のとき)。ネットワークアイコン  が、表示画面の中心に約4秒間表示されます。

注意: イーサネットが有効または無効であるかどうかにかかわらず、RS232 は有効なままです。



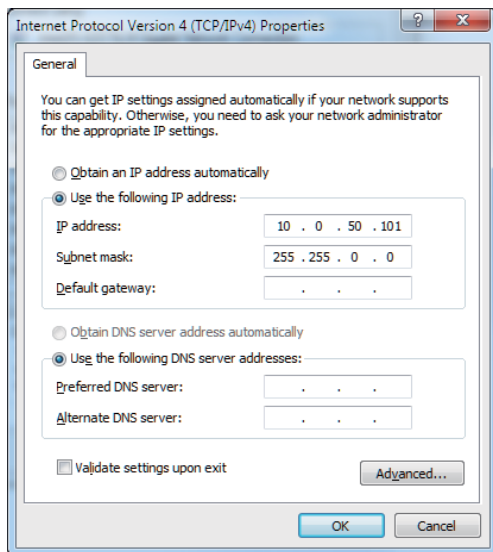
このモニターには、ネットワーク機能が付属しており、入力信号、輝度、音量などの設定にリモートでアクセスし、変更することができます。

コンピューターおよびモニターのIPアドレスを設定するために、DellディスプレイWeb管理ツールにアクセスするには。

1. リモコンのメニューキーを押して、または、OSDメニュー > その他の順に操作して、モニターのIPアドレスを表示します。デフォルトでは、IPアドレスは10.0.50.100です



2. コンピューターのIPプロパティタブで、次のIPアドレスの使用を選択し、次の値を入力して、IPアドレスを指定します：IPアドレスは、10.0.50.101で、サブネットマスクは、255.255.0.0です（その他すべてのエントリーは、空白のままにします）。



3. IPアドレス構成は、次のようになります：





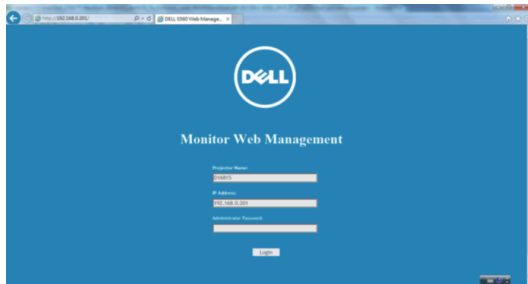
ノートパソコンの IP アドレスを 10.0.50.101 に
構成する



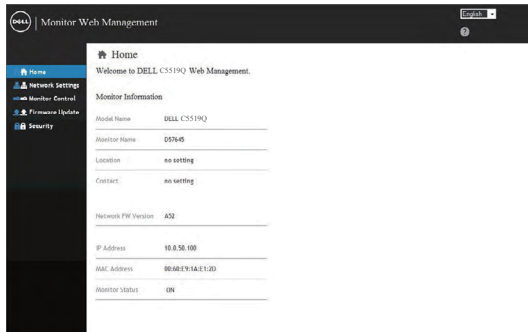
モニターの IP アドレス
10.0.50.100

Web 管理ツールにアクセス・使用するには、次の手順に従ってください：

1. Web ブラウザを開き、アドレスバーにモニターの IP アドレス (10.0.50.100) を入力します。
2. ログインページが開きます。管理者パスワードを入力して、続行します。

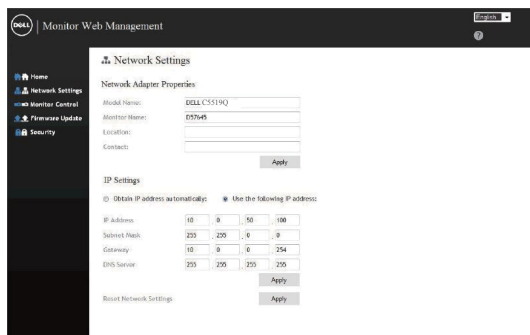


3. Home (ホーム) ページが開きます。

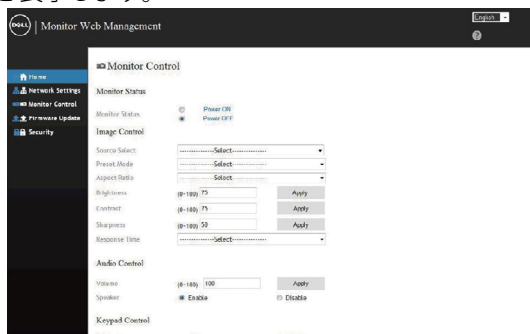


4. Network Settings (ネットワーク設定) タブをクリックして、ネットワーク設定を表示します。

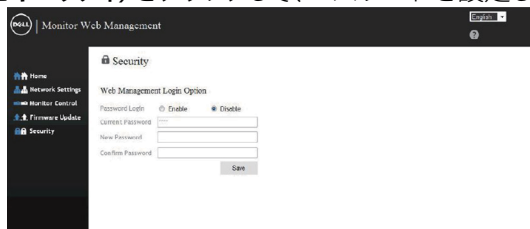




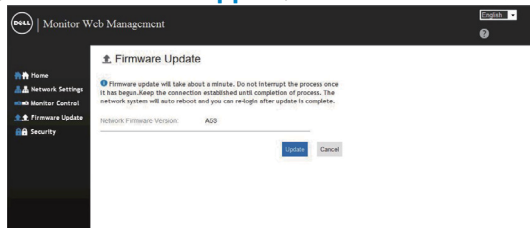
5. **Display Control (ディスプレイコントロール)** をクリックして、ディスプレイのステータスを表示します。



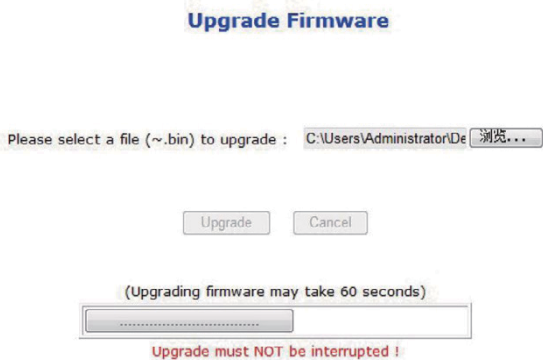
6. **Security (セキュリティ)** をクリックして、パスワードを設定します。



7. **Firmware (ファームウェア)** を更新します。最新のドライバーをDellサポート Web サイト (www.dell.com/support) からダウンロードすることができます



8. ファームウェアアップグレードページが表示されます。30秒間待機してください。



9. 完了です。ボタンをクリックすると、8秒後に次に進みます。

Please wait.

Click on button to proceed after 8 seconds.

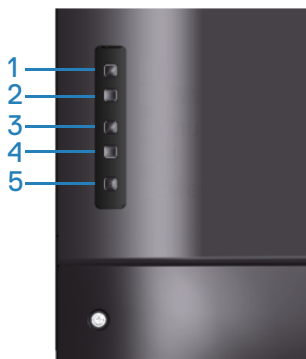
Waiting (6)



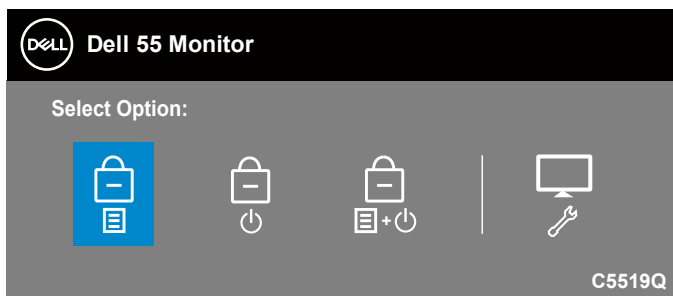
OSDおよび電源ボタンのロック

ユーザーが調整にアクセスすることを制御します。

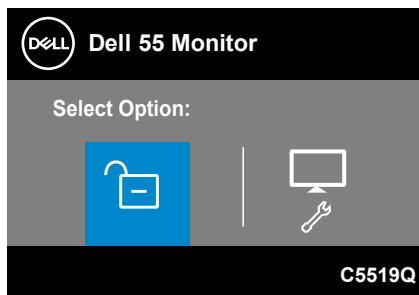
OSD ロックのデフォルト設定は、ロック解除に設定されています。







OSD ロックメニューに入るには：終了キー（ボタン 4）を 4 秒間押し続けて、OSD ロックメニューを表示します（OSD がロック解除されているとき）。OSD ロックメニューが、表示画面の中心に 4 秒間表示されます。




OSD ロック解除メニューに入るには：終了キー（ボタン 4）を 4 秒間押し続けて、OSD ロックメニューを表示します（OSD がロックされているとき）。OSD ロック解除メニューが、表示画面の中心に 4 秒間表示されます。



ロックには、3つのレベルがあります。

	メニュー	説明
1	OSD メニューロック 	「OSD メニューロック」が選択されている場合、ユーザーは調整できません。電源キー以外のすべてのボタンがロックされます。
2	電源オフボタンロック 	「電源オフボタンロック」が選択されている場合、ユーザーは、電源キーを介して、ディスプレイをオフに切り替えることができません。
3	OSD メニューロック + 電源オフボタンロック 	「OSD メニューロック + 電源オフボタンロック」が選択されている場合、ユーザーは、調整を行うことができず、電源オフボタンをロックすることができません。
4	ビルトイン診断 	詳細については、 ビルトイン診断 を参照してください。

注意: OSD ロックまたはロック解除メニューに入るには - 終了キー (ボタン 4) を 4 秒間押し続けます。

次の条件 (OSD がどのロック状態にあるか) に応じて、表示画面の中心に  アイコンが表示されます。

1. 「OSD メニューロック」状態にあるときは、上キー (ボタン 1)、下キー (ボタン 2)、メニューキー (ボタン 3) または終了キー (ボタン 4) を押してください。
2. 「電源ボタンロック」状態にあるときは、電源キー (ボタン 5) を押してください。
3. 「OSD メニューロック + 電源オフボタンロック」状態にあるときは、モニターのいずれかのボタンを押してください。

OSD がロック状態にあるときは、終了キー (ボタン 4) を 4 秒間押し続けて、OSD ロックメニューに入ってください。

次に、ロック解除アイコン  を選択・適用して、OSD ロックを解除してください。



トラブルシューティング

⚠ 危険: このセクションの手順を始める前に、**安全上の注意**に従ってください。

セルフテスト

モニターには、お使いのモニターが正しく機能しているかをチェックできるセルフテスト機能があります。モニターとコンピューターが正しく接続されているにもかかわらず、モニター画面が黒いままの場合は、次のステップを実行し、モニターのセルフテストを実行してください。

1. コンピューターとモニターの両方の電源を切ります。
2. モニターからすべてのビデオケーブルを取り外します。ケーブルを外すことで、コンピューターがこのセルフテストに関わらなくなります。
3. モニターの電源を入れます。

モニターが正しく機能している場合、信号がないことが検出され、次のいずれかのメッセージが表示されます。セルフテストモードの間、電源 LED は白のまま点灯します。





注意: このボックスは、通常のシステム操作時にも、ビデオケーブルが切断または破損した場合に表示されます。

4. モニターの電源を切り、ビデオケーブルを再接続します。次に、コンピューターとモニターの電源を入れます。

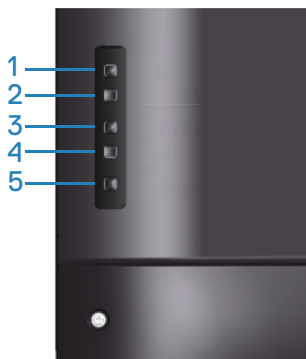
ケーブルを再接続してもモニターに何も映らなければ、ビデオコントローラーとコンピューターを確認してください。



ビルトイン診断

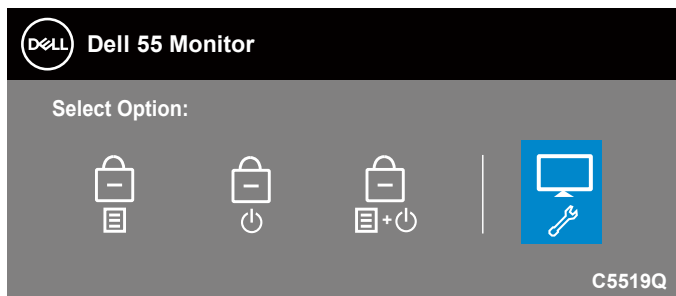
モニターにはビルトイン診断ツールがあり、画面の異常がモニターに内在する問題なのか、コンピューターやビデオカードの問題なのかを同定するために役立ちます。


注意: ビデオケーブルが抜かれ、モニターはセルフテストモードの場合のみ、ビルトイン診断を実行することができます。



ビルトイン診断を実行するには:

1. 画面が汚れていないことを確認します (画面の表面に埃がないこと)。
2. コンピューターまたはモニターの裏側からビデオケーブルを抜きます。モニターはセルフテストモードに入ります。
3. 終了キー (ボタン 4) を 4 秒間押し続けて、OSD ロック / ロック解除メニューに入ります。



4.  アイコンを選択して、ビルトイン診断を有効にします。



5. 注意して画面の異常を調べます。
6. もう一度、背面カバーの上キー(ボタン1)を押します。画面の色が灰色に変わります。
7. ディスプレイに異常がないか調べます。
8. ステップ6と7を繰り返し、赤、緑、青、黒、白、テキストパターン画面で表示を調査します。

テキストパターン画面が現れると、テストは完了です。終了するには、もう一度上キー(ボタン1)を押します。

ビルトイン診断ツールを使用して画面の異常を検出できない場合、モニターは正常に機能しています。ビデオカードとコンピューターを調べてください。



共通の問題

次の表の内容は、起こりうるモニターの問題と、可能な解決策についての一般情報です。

一般的な症状	可能な解決策
ビデオなし / 電源 LED がオフ	<ul style="list-style-type: none">● モニターとコンピューターを繋ぐビデオケーブルが正しく、確実に接続されていることを確認します。● 他の電子機器を使用して、電源コンセントが正しく機能していることを確認します。● 電源ボタンが押されていることを確認します。● 入力信号メニューで、正しい入力ソースが選択されているか確認します。
ビデオなし / 電源 LED がオン	<ul style="list-style-type: none">● OSD を利用し、輝度とコントラストコントロールを上げます。● モニターのセルフテスト機能チェックを実行します。● ビデオケーブルコネクターのピンが曲がったり、折れていないか確認します。● ビルトイン診断を実行します。● 入力信号メニューで、正しい入力ソースが選択されているか確認します。
焦点がおかしい	<ul style="list-style-type: none">● ビデオ延長ケーブルを取り除きます。● モニターを工場出荷時設定にリセットします (工場リセット)。● ビデオ解像度を正しいアスペクト比に変更します。
揺れ / 不安定なビデオ	<ul style="list-style-type: none">● モニターを工場出荷時設定にリセットします (工場リセット)。● 環境要因をチェックします。● モニターを移動させ、別の部屋でテストします。
ピクセル抜け	<ul style="list-style-type: none">● 電源を入れ直します。● 常にオフになっているピクセルがありますが、これは LCD テクノロジーで発生することがある普通の欠陥です。● Dell モニター品質とピクセルポリシーについての詳細は、Dell サポートサイト: www.dell.com/support/monitors。
常時点灯ピクセル	<ul style="list-style-type: none">● 電源を入れ直します。● 常にオフになっているピクセルがありますが、これは LCD テクノロジーで発生することがある普通の欠陥です。● Dell モニター品質とピクセルポリシーについての詳細は、Dell サポートサイト: www.dell.com/support/monitors。
輝度の問題	<ul style="list-style-type: none">● モニターを工場出荷時設定にリセットします (工場リセット)。● OSD で輝度とコントラストコントロールを調整します。
幾何学的歪み	<ul style="list-style-type: none">● モニターを工場出荷時設定にリセットします (工場リセット)。● OSD で水平方向と垂直方向のコントロールを調整します。



水平 / 垂直ライン	<ul style="list-style-type: none"> ● モニターを工場出荷時設定にリセットします(工場リセット)。 ● モニターのセルフテスト機能チェックを実行し、これらの線がセルフテストモードでも存在するかどうか確かめます。 ● ビデオケーブルコネクターのピンが曲がったり、折れていないか確認します。 ● ビルトイン診断を実行します。
同期の問題	<ul style="list-style-type: none"> ● モニターを工場出荷時設定にリセットします(工場リセット)。 ● モニターのセルフテスト機能チェックを実行し、これらの乱れた画面がセルフテストモードでも現れるかどうか確かめます。 ● ビデオケーブルコネクターのピンが曲がったり、折れていないか確認します。 ● コンピューターをセーフモードで再起動します。
安全関連の問題	<ul style="list-style-type: none"> ● どんな問題解決手段も実行してはいけません。 ● Dell にすぐにご連絡ください。
断続的な問題	<ul style="list-style-type: none"> ● モニターとコンピューターを繋ぐビデオケーブルが正しく、確実に接続されていることを確認します。 ● モニターを工場出荷時設定にリセットします(工場リセット)。 ● モニターのセルフテスト機能チェックを実行し、とぎれる問題がセルフテストモードでも現れるかどうか確かめます。
色が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ● モニターのセルフテスト機能チェックを実行します。 ● モニターとコンピューターを繋ぐビデオケーブルが正しく、確実に接続されていることを確認します。 ● ビデオケーブルコネクターのピンが曲がったり、折れていないか確認します。
色がおかしい	<ul style="list-style-type: none"> ● アプリケーションに応じて、色設定 OSD の色設定モードをグラフィックスまたはビデオに変更します。 ● 色設定 OSD で、異なるプリセットモードを試します。色設定 OSD のユーザーカラーで、R/G/B 値を調整します。 ● 色設定 OSD で、入力カラー形式を RGB または YPbPr に変更します。 ● ビルトイン診断を実行します。
静止画像を長時間モニターに映していたことによる画像の残像	<ul style="list-style-type: none"> ● 画面のアイドル時間の数分後に画面がオフになるように設定します。これらは、Windows の電源オプションまたは Mac の省エネルギー設定で調整できます。 ● または、動的に変化するスクリーンセーバーを使用してください。
ビデオのゴースト発生またはオーバーシュートティング	<ul style="list-style-type: none"> ● ディスプレイ OSD の応答時間を利用目的に合わせて、高速または標準に変更します。



製品固有の問題

固有の症状	可能な解決策
画面の画像が小さすぎる	<ul style="list-style-type: none">• ディスプレイ設定 OSD で、アスペクト比設定を確認します。• モニターを工場出荷時設定にリセットします (工場リセット)。
パネルの背面にあるボタンを使用してモニターを調整できない	<ul style="list-style-type: none">• モニターの電源を切り、電源コードを抜き、もう一度差し、モニターの電源を入れます。• OSD メニューがロックされているかどうか確認します。ロックされている場合、メニューボタンを 10 秒間押し、ロックを解除します。
ユーザーコントロールが押されると、入力信号なし	<ul style="list-style-type: none">• 信号ソースを確認します。マウスを動かすかキーボードのいずれかのキーを押して、コンピューターが待機またはスリープモードにないかを確認します。• ビデオケーブルが正しく差し込まれているかどうかを確認してください。必要に応じて、ビデオケーブルを差し込み直してください。• コンピューターまたはビデオプレイヤーをリセットします。
画像が全画面に表示されない	<ul style="list-style-type: none">• DVD の異なるビデオ形式 (アスペクト比) のため、モニターは全画面表示しません。• ビルトイン診断を実行します。



付録

安全上の注意

⚠ 危険: この説明書で指定された以外の制御、調整、手順の使用は、感電、電気事故、機械的な事故に繋がる可能性があります。

安全上の注意については、**安全、環境、規制情報 (SERI)** を参照してください。

FCC 通知 (米国のみ) およびその他の規制情報

FCC 通知およびその他の規制情報については、規制コンプライアンス Web サイト (www.dell.com/regulatory_compliance) を参照してください。


最高性能を達成し、モニターの寿命を延ばすために、以下の安全上の注意を遵守してください。

1. 壁コンセントは装置の近くに設置し、簡単にアクセスできるようにしてください。
2. 装置を壁または水平位置の天井に設置してください。
3. モニターには三つ叉接地プラグ (3 本目のアースピンの付いたプラグ) が付属しています。
4. 本製品の近くで水を使用しないでください。
5. これらの注意事項を良くお読みください。将来参照できるよう、本書を保管してください。製品上に記載されたすべての警告および注意事項を遵守してください。
6. イヤホンやヘッドホンからの過度の音圧により、聴力障害が発生する可能性があります。イコライザーを最大に調整すると、イヤホンやヘッドホンの出力電圧が増加し、音圧レベルが増大します。



Dell に連絡

米国内のお客様は、800-WWW-DELL (800-999-3355)にお電話ください。

 **注意：有効なインターネット接続がない場合には、連絡情報は仕入送り状、荷造伝票、請求書、Dell 製品カタログに掲載されています。**

Dell では複数のオンライン、電話によるサポートとサービスオプションを提供しています。国や製品によってサービスが利用できるかどうか異なります。また、一部のサービスはお住まいの地域では提供していないことがあります。

オンラインのモニターサポートコンテンツを入手するには、以下の手順に従います。

1. www.dell.com/support/monitors をご覧ください。

販売、技術サービス、顧客サービスについて Dell に連絡する場合は、下記にお問い合わせください。

1. www.dell.com/support にアクセスします。
2. ページの一番下の**国 / 地域**の選択ドロップダウンメニューから、お住まいの国または地域を確認します。
3. ページの左側にある **Contact Us (お問い合わせ)** をクリックします。
4. 適切なサービスまたはサポートリンクを必要に応じて選択します。
5. 希望する Dell への連絡方法を選択します。

エネルギーラベルと製品情報シートの EU 製品データベース

C5519Q: <https://eprel.ec.europa.eu/qr/342759>



モニターの設定

ディスプレイの解像度を3840 x 2160(最大)に設定する

最高性能を達成するため、次の手順に従い、ディスプレイ解像度を3840 x 2160ピクセルに設定します：

Windows 7、Windows 8またはWindows 8.1の場合：

1. Windows 8 と Windows 8.1 の場合のみ、デスクトップタイルを選択してクラシックデスクトップに切り替えます。
2. デスクトップを右クリックし、**Screen Resolution (画面解像度)** をクリックします。
3. 画面解像度のドロップダウンリストをクリックし、**3840 x 2160** を選択します。
4. **OK** をクリックします。

Windows 10の場合：


1. デスクトップを右クリックし、**Display settings (ディスプレイ設定)** をクリックします。
2. **Advanced display settings (詳細ディスプレイ設定)** をクリックします。
3. **Resolution (解像度)** のドロップダウンリストをクリックし、**3840 x 2160** を選択します。
4. **Apply (適用)** をクリックします。

推奨の解像度がオプションとして表示されない場合、グラフィックドライバーを更新する必要があります。使用しているコンピューターシステムを最もよく表している以下のシナリオを選択し、示されるステップに従ってください。



Dellコンピューター

1. www.dell.com/support にアクセスし、サービスタグを入力して、グラフィックカード用の最新ドライバーをダウンロードします。
2. グラフィックアダプター用ドライバーをインストールした後、解像度を再び **3840 x 2160** に設定してみてください。

 **注意：推奨の解像度を設定できない場合、コンピューターメーカーに連絡するか、推奨のビデオ解像度をサポートするグラフィックアダプターの購入を検討してください。**


非 Dell コンピューター

Windows 7、Windows 8またはWindows 8.1の場合：

1. Windows 8 と Windows 8.1 の場合のみ、デスクトップタイルを選択してクラシックデスクトップに切り替えます。
2. デスクトップを右クリックし、**Personalization (個人用設定)** をクリックします。
3. **Change Display Settings (ディスプレイ設定の変更)** をクリックします。
4. **Advanced Settings (詳細設定)** をクリックします。
5. ウィンドウの一番上にある説明から、グラフィックコントローラーのメーカーを特定します (例：NVIDIA、ATI、Intel など)。
6. グラフィックカード製造業者の Web サイトへ行き、更新されたドライバーを見つけます (例えば、www.ATI.com または www.AMD.com)。
7. グラフィックアダプター用ドライバーをインストールした後、解像度を再び **3840 x 2160** に設定してみてください。

Windows 10の場合：

1. デスクトップ上で右クリックし、**Display settings (ディスプレイ設定)** をクリックします。
2. **Advanced display settings (詳細ディスプレイ設定)** をクリックします。
3. **Display adapter properties (ディスプレイアダプターのプロパティ)** をクリックします。
4. ウィンドウの一番上にある説明から、グラフィックコントローラーのメーカーを特定します (例：NVIDIA、ATI、Intel など)。
5. グラフィックカード製造業者の Web サイトへ行き、更新されたドライバーを見つけます (例えば、www.ATI.com または www.NVIDIA.com)。
6. グラフィックアダプター用ドライバーをインストールした後、解像度を再び **3840 x 2160** に設定してみてください。

 **注意：推奨の解像度を設定できない場合、コンピューターメーカーに連絡するか、推奨のビデオ解像度をサポートするグラフィックアダプターの購入を検討してください。**



お手入れのガイドライン

ディスプレイの清掃

⚠ **危険:** ディスプレイを清掃する前に、コンセントからディスプレイの電源ケーブルを抜いてください。

⚠ **警告:** ディスプレイを清掃する前に、**安全上の注意**を読んで、これに従ってください。

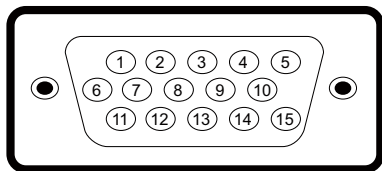
ディスプレイの開梱、清掃、取り扱いの際には、次の一覧にある手順に従うことを推奨します。

- 静電防止スクリーンを清掃するには、柔らかい清潔な布を水で軽く湿らせます。できれば、スクリーン清掃専用のティッシュまたは静電防止コーティング専用の洗剤を使用してください。ベンジン、シンナー、アンモニア、研磨クリーナー、圧縮空気は使用しないでください。
- ディスプレイの清掃には、ぬるま湯で軽く湿らせた布を使用します。乳状のフィルムがディスプレイの表面に残ることがあるので、洗剤は使用しないでください。
- ディスプレイを開梱する際、白い粉があった場合には、布で拭いてください。
- ディスプレイは注意して取り扱ってください。黒い色のディスプレイは引っ掻くと白い擦り傷が残り、明るい色のディスプレイより目立ちます。
- ディスプレイの画像品質を最高の状態に維持するために、動的に変化するスクリーンセーバーを使用し、使用しないときにはディスプレイの電源を切ってください。



ピン割り当て

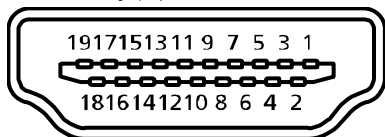
VGA コネクター



ピン番号	15ピン側面信号ケーブルのモニター側
1	ビデオ赤
2	ビデオ緑
3	ビデオ青
4	GND
5	セルフテスト
6	GND-R
7	GND-G
8	GND-B
9	DDC +5 V
10	GND-sync
11	GND
12	DDC data
13	H-sync
14	V-sync
15	DDC clock



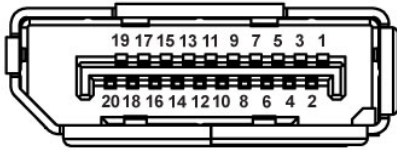
HDMI コネクター



ピン番号	19ピン側面信号ケーブルのモニター側
1	TMDS Data2+
2	TMDS Data2 Shield
3	TMDS Data2-
4	TMDS Data1+
5	TMDS Data1 Shield
6	TMDS Data1-
7	TMDS Data0+
8	TMDS Data0 Shield
9	TMDS Data0-
10	TMDS Clock+
11	TMDS Clock Shield
12	TMDS Clock-
13	CEC
14	未使用 (デバイスに無接続)
15	SCL
16	SDA
17	DDC/CEC接地
18	+5V電源
19	ホットプラグ検出



DP コネクタ





ピン番号	接続された信号ケーブルの20ピン側
1	ML0 (p)
2	GND
3	ML0 (n)
4	ML1 (p)
5	GND
6	ML1 (n)
7	ML2 (p)
8	GND
9	ML2 (n)
10	ML3 (p)
11	GND
12	ML3 (n)
13	GND
14	GND
15	AUX (p)
16	GND
17	AUX (n)
18	GND
19	Re-PWR
20	+3.3 V DP_PWR




ユニバーサルシリアルバス (USB)


このセクションでは、モニターで使用できるUSBポートについて説明します。モニターには、次のUSBポートがあります：

- 1xUSB 3.0アップストリーム
- 2xUSB 3.0ダウンストリーム
- 1xUSB専用充電ポート
- 充電ポート - アイコンが付いたポート。BC1.2互換機器使用時に高速充電に対応。

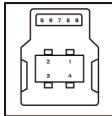

 **注意：USB 3.0機能にはUSB 3.0対応のコンピューターが必要です。**

 **注意：モニターのUSBインターフェイスは、モニターがオンのとき、または Standby Mode (スタンバイモード) 時にのみ作動します。モニターをオフにしてから再びオンにすると、接続された周辺機器は数秒後に通常の機能を回復します。**

転送速度	データ率	電力消費*
2 Super-speed	5 Gbps	4.5 W (最大、各ポート)
高速	480 Mbps	4.5 W (最大、各ポート)
全速度	12 Mbps	4.5 W (最大、各ポート)

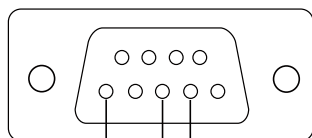
* BC1.2準拠デバイスまたは標準のUSBデバイスのUSBダウンストリームポート (アイコンの付いたポート) で最大2A。



USB 3.0アップストリームポート		USB 3.0ダウンストリームポート	
			
ピン番号	信号名	ピン番号	信号名
1	VBUS	1	VBUS
2	D-	2	D-
3	D+	3	D+
4	GND	4	GND
5	StdB_SSTX-	5	StdB_SSTX-
6	StdB_SSTX+	6	StdB_SSTX+
7	GND_DRAIN	7	GND_DRAIN
8	StdB_SSRX-	8	StdB_SSRX-
9	StdB_SSRX+	9	StdB_SSRX+
Shell	Shield	Shell	Shield

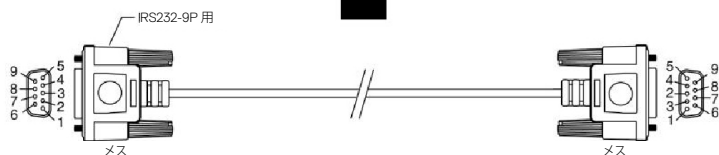
RS232コネクター

(モニターに向かって) RS232モニターのピン配置



オス GND TXD RXD

(ケーブルに向かって) RS232シリアル通信ケーブルピン配置



ピン割り当て

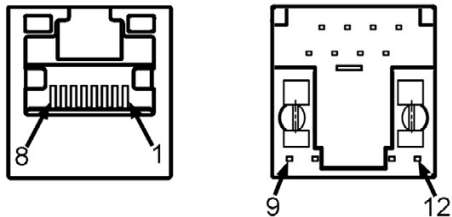
RS232	ピンの説明	RS232
1		
2	TXD	2
3	RXD	3
4		
5	グラウンド	5
6		
7	未使用	7
8	未使用	8
9		

RS232プロトコル通信設定

接続設定	値
ボーレート	9600 bps
データビット	8ビット
パリティ	なし
ストップビット	1ビット
フロー制御	なし



RJ-45コネクタ



ピン割り当て

ピン番号	コネクタの12ピン側
1	D+
2	D-
3	RCT
4	GND
5	GND
6	RCT
7	D+
8	D-
9	LED2_Y+
10	LED2_Y-
11	LED1_G+
12	LED1_G-



1. アースリード線を挿入・接触しない。電源プラグのアースリード線を電源コンセントに挿入・接触させると火災・感電の原因となります。
2. 電源プラグは奥までしっかりと差し込んでください。しっかりと差し込まれていないと火災・感電の原因となることがあります。
3. アースリード線を接続する本機は電源コードのアース端子を大地アースに接続することを前提に設計されているアースつき 2 芯プラグ機器です。機器の安全確保のため、電源コードのアース接続線を、コンセントのアース端子に接続し、機器のアースを確実にとってご使用ください。アースを接続しないと感電するおそれがあります。アース工事は専門業者にご依頼ください。アースの接続は、必ず電源プラグをコンセントに差し込む前におこなってください。また、アースを外す場合は、必ず電源コンセントから抜いてからおこなってください。
4. 電源コードの一方の端を、本機の電源入力コネクタに差し込む奥までしっかりと差し込んでください。電源コードをディスプレイ本体付属のクランプとネジ (M4 × 10) で固定することで本体の電源入力コネクタから容易に抜けるのを防止することができます。
5. アースリード線を接地 (アース接続) する。
6. 電源プラグを AC100V 電源コンセントに接続する。
7. 本機には一般のご家庭のコンセント (AC100V) でお使いいただくための電源コードを添付しております。AC100V 以外で使用しないでください。
8. 電源プラグのアースリード線は必ず接地 (アース) してください。なお、アース接続をはずす場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてからおこなってください。また、電源プラグのアースリード線は電源コンセントに挿入または接触させないでください。火災・感電の原因となります。
9. 本機に添付している電源コードは本機専用です。安全のため他の機器には使用しないでください。

